

広島型ランドバンク事業における新たなモデル地区の決定について

1 要旨・目的

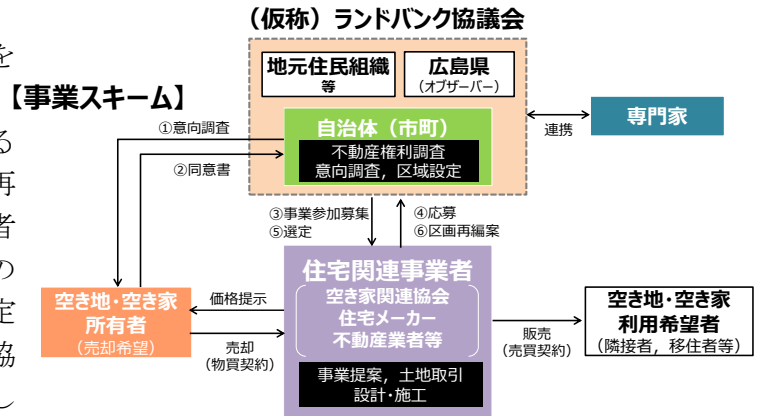
利便性の高い集約型都市構造の形成に向け、広島型ランドバンク事業に取り組むこととしており、三原市本町地区をモデル地区として事業及び事業スキームの検証を進めている。

県内のランドバンク事業の普及に向けては、都市規模に応じた事業スキーム検証を進めるため、新たに府中市府中・出口地区をモデル地区として決定した。

2 現状・背景

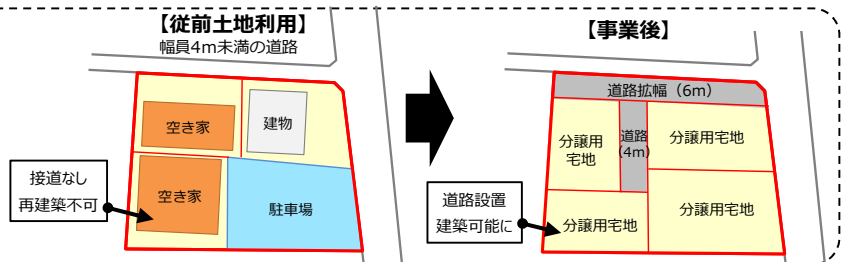
令和3年度の検討において、全県展開を見据えた事業スキームを構築した。

地元住民組織と自治体で事業を進める「ランドバンク協議会」を設置し、区画再編エリアの設定、整備方針の決定、関係者調整、事業者選定等を担い、再編エリアの土地買収、工事、再編後の土地販売を選定された住宅関連事業者（民間）が行う。協議会には、県がオブザーバーとして参画し事業を推進する。



ランドバンク事業

空き家や空き地などの未利用ストックについて、接道状況や土地形状の改善を図り、土地に付加価値を与え、市場性のあるストックを生み出す事業。



3 概要

(1) 対象者

府中市、地元住民組織

(2) 実施内容

ア 決定理由

モデル地区の選定にあたっては、利便性が高い地域であるが道路が狭隘のため建て替えが進んでいないなど、ランドバンク事業を実施することによる効果が高い地区として府中市府中・出口地区【別紙】を決定した。また、令和5年3月に策定された府中市住生活基本計画では、区画再生による利便性の高い市街地への居住誘導のための施策としてランドバンク事業が位置づけられるなど機運が高まっている。

イ 地区の概要

この地区は、JR府中駅の北西に位置し、駅と隣接した利便性が高い地域であるが、既成市街地のため道路が狭隘なことから、住宅の建て替えが進んでおらず空き家が増加している地域である。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

7,500千円

(5) 今後の対応

令和5年7月にランドバンク協議会を設立予定であり、県は協議会と連携して区画再編を取り組んでいくとともに事業スキームの有効性を検証しながら事業を推進していく。

